

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、食品産業行政につきましては、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」に関し、柏崎市及び刈羽村から農林水産省に対し支援要請があった食品について、支援の依頼をいたしましたところ、貴協議会の御尽力により、貴協議会会員企業から食品の提供の御支援を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。

貴協議会から賜りました御厚情が被災地の方々が通常の生活に戻る一助となり、ひいては被災地域の復旧につながるものと考えております。

農林水産省といたしましては、今後とも、被災民及び被災地域の復興のために全力を挙げ協力して参る所存でございます。

末筆ではございますが、貴協議会の益々の御発展を祈念いたしまして、お礼の御挨拶とさせていただきます。

敬具

平成19年8月2日

日本介護食品協議会

会長 島 家時 殿

農林水産省総合食料局

食品産業振興課長 櫻庭 英悦

平成19年7月31日  
北陸農政局  
生産経営流通部食品課

## 第3回災害支援物資の配送等について(概要)

1. 実施日 平成19年7月30日(月)

2. 配送物資 介護食及び幼児食の14商品

3. 配送体制

(1) 車両台数 13台

(2) 人員 北陸農政局(生産経営流通部・総務部・食糧部・統計部・消費安全部)、新潟農政事務所、長岡統計センター、富山農政事務所から総勢28名

4. 概要

(1) 介護食等の配送等に当たり、柏崎市現地対策本部への事前説明等

今回の配送等に当たり、柏崎市現地対策本部と事前に以下のことを説明し確認・了解の下、実施。

- ① 避難所において電気が通じ、水道が復旧しつつあること等ライフラインが順次整備されつつあることから、今回レトルトタイプの介護食等の避難所への直接配送を実施したいこと
- ② 介護食等については、基本的に対象者(固いものや大きいものが食べづらい方や、物が飲み込みづらい方を対象)が限定されることや、商品特性の理解が必要であることから、当該事項を内容とした説明ペーパーを事前準備すること
- ③ 配送と併せ、「元気館(高齢者の多い避難所。以下同じ。)」において試食コーナーを設け、温めた介護食等を被災者へ直接提供するとともに、感想等の聞き取りやできる範囲内で写真どりを行うこと

(2) 配送状況

- ① 管内各地から、災害支援物資を保管している新潟農政事務所地域第1課(新潟県長岡市)へ集合。
- ② その後新潟農政事務所永澤課長から、各避難所への配送商品についての確認事項、及び山崎食品課課長補佐から、介護食等の配送に当たり、避難所責任者に対し当該商品の事前説明の周知徹底等留意点を、それぞれ説明。

- ③ 49避難所（被災者数5名以上を対象）を12ルートに区分けし、介護食等の仕分け・積込みを行い、12時40分から順次避難所への直接配送を開始し、14時50分頃に配送完了。

（注）1避難所は廃止予定となっているため、物資の受け取りを遠慮したことから、物資を配送した避難所数は48。

- ④ 各避難所の市の担当者60名程度を対象とした柏崎市役所内での打合せ（14時30分）において、川越生産経営流通部次長から、本日の介護食等の提供等について説明を行った。また、避難所に食事のみを目的で来られる方でも介護食等を必要とされる方には配布していただくよう併せて要請した。

⑤ 配送時の避難所の反応等

各避難所への配送時における反応等は以下のとおり。

- ア 自衛隊の食事（ご飯）は自分には固かったので、介護食はとても助かる（複数の避難所）。
- イ 2回に1回は柔らかいものを食べたかった。
- ウ 高齢者の多い避難所では、介護食は大変ありがたい。
- エ かぼちゃの煮物、肉じゃがに興味をもったところがあった。
- オ 高齢者にはこれ（介護食）はよい。
- カ 廃止予定の避難所（1カ所）では、物資の引き取りを遠慮するところもあった（当該商品は元気館での試食等に活用）。
- キ 栄養士と相談してメニューに活用したい（避難所の責任者）。

（3）「元気館」での介護食等の試食等の実施

① 実施体制

- ア なべ4個、ガスコンロ、IHコンロ、使い捨てお椀・スプーン等必要な設備等を一式持参し、介護食等を温め提供できる体制を整備

イ 対応者

川越生産経営流部次長を実行責任者とし、山崎食品課課長補佐、重久同係長による実行チームを編成するとともに、柏崎市現地対策本部詰めの辻農産課課長補佐も合流し実施

② 介護食品等

試食等を行った商品は以下のとおり。

ア ふっくら白かゆ	80食
イ ふっくらおかゆ	96食
ウ おじや親子丢風	120食
オ 肉じゃが	30食
カ かぼちゃと豆の煮物	30食
キ きざみ野菜のカレー	60食
ク 五目豆	12食
ケ 昆布豆	12食

コ	大豆のおじや	12食
サ	ビーフシチュー	12食
シ	チキンシチュー	12食
ス	ポークカレーシチュー	12食
セ	カレー職人甘口	120食
ソ	幼児食5大アレルギー不使用ハヤシライス	30食
合	計	638食

### ③ 実施状況

- ア ②の商品を自衛隊の炊き出し時間(18時)に合わせ試食等を開始し、終了時間である19時30分頃まで実施。  
イ 準備した介護食等は全て被災者へ提供(残った商品はなし)。

### ④ 避難所における反応等

- ア (試食をしているところに声をかけてみたところ、) このかぼちゃの煮物はとてもおいしい。かぼちゃが大好きで食べたかった。あまりにおいしいので、もう一つ頂きたい(持ち帰り)(60~70才と思われる女性)。  
イ 幼児の食べるものがあまりなかったので、幼児カレー、ハヤシライスはありがたい(30~40才と思われる女性)。  
ウ おばあちゃんに食べさせたいので、「五目豆」を下さい(40~50才と思われる女性)。  
エ どういうふうに食べるのかの問い合わせも多く、当方から「レトルトなので、数分温めておいしく召し上がれます」と回答。(水道が復旧してきていることもあり) 持ち帰って食べたいとの希望する高齢者多数。  
オ 日持ちがする商品であったことも喜ばれた(高齢者複数)。  
カ かぼちゃの煮物や五目豆の煮付け等は通常、家で調理して食べているのでこういうものがレトルト商品としてあることを初めて知った。地震が起きた時にはレトルトの介護食はとてもうれしい。周りの高齢者にも配りたい(50~60才と思われる女性)。  
キ 試食コーナーの準備中に、栄養士の方が訪れ、介護食品に興味を持たれ、商品を手にとって見ていた。試食もしてみたい。  
ク いつもの食事にプラスしてもう1~2品できるので、食卓が豪華になる(60~70才と思われる女性(福祉避難所))。  
ケ 自衛隊の炊き出しでは出ないメニューが年寄りにも食べやすく柔らかくなっていて驚いた(60~70才と思われる女性(福祉避難所))。











